

「地域あつての社会福祉法人」

社会福祉法人共友会

マイクロバスによるおでかけ支援

平成 28 年度に 29 人乗りのマイクロバスを購入し、施設利用者の施設外就労の送迎等の利用のほか、地域の各種団体にも貸し出しをしました。その後、大型ショッピングセンターがオープンし、月に一回、近隣の 3 町内の高齢者等を対象に、お出かけ支援を始めたところ好評で、令和元年 10 月から、小松市が当法人のマイクロバスを借りて、「らくバスやたの」の名称のもと、通院や買い物等を目的とする、「デマンド型交通」の実験運用を開始し、現在、本格実施されています。このような、当法人の地域貢献活動の推進等が評価され、令和 2 年 3 月に、小松市長より「やさしい職場認定表彰」を受けました。



らくバスの出発式

「地域で共に生きる」を合い言葉に

「グループホームやたの」の認知症のご利用者が職員の付き添いのもと、小学生の下校時に、国道を安全に横断できるよう、交通パトロールを平成 29 年から、月二回実施しています。子どもたちが、「おじいちゃん、ただいま」と声かけしたり、また、利用者が通学路の草が荒れ放題なのを心配されるなど、ご利用者自身の生き甲斐にもなり、町内高齢者の当番のなり手不足に少しでも役立てればと思っています。



矢田野小学校での
認知症サポーター養成講座

このほか、「グループホームやたの」では、毎月、宗教ボランティアのお坊さんによる法話を開催しています。また、平成 20 年からは、地元小学校で、スタッフとともにご利用者も出向き、認知症サポーター養成講座を開催しているほか、毎年の地元矢田野町の祭り等に、焼きそば等を販売する屋台を出店しています。

今後の目標

障害者や高齢者等、ご本人の自己決定を尊重し社会参加を促進していくことや暮らしの継続を支援していくには、地域の方々の協力が不可欠であり、当法人では自主事業として、地域の独り暮らしの障害者やお年寄りの方等を対象に、宅配弁当サービスを中心にした生活支援サービスを従来から実施しています。既存の制度に捉われず、法人として地域の方々に貢献できる取り組みを地域の方々と共に考え、実施していくことも法人の使命と捉えています。当法人も、設立から 20 年を経過し、地域の中で、認知度が増してきたと思っていますが、これからは、積極的に法人側から、いろんな意味で、地域に出かける取り組みが求められていると思っています。



岡安 努
統括マネージャー